

編 修 趣 意 書

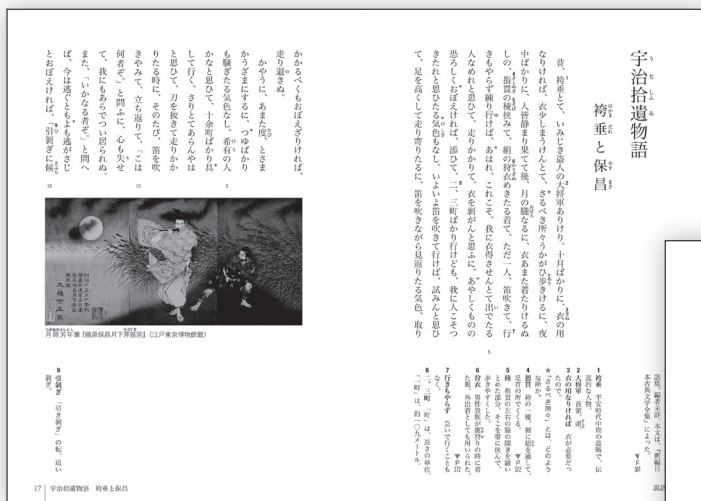
(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-16	高等学校	国語科	古典 B	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	古 B 338	古典 B		

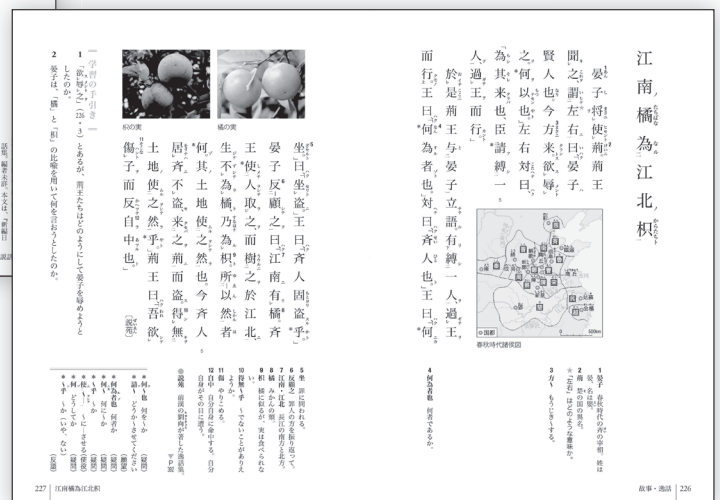
1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）」を、学習活動を通じて実現できるように編修しました。すなわち、言語や文化についての幅広い知識や教養を身に付け、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるようにしました。同時に、生命を尊び、自然を大切に、主体的に社会の形成に参画する態度、伝統と文化を尊重する態度、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。

編修にあたっては、小学校・中学校での古典学習、「国語総合」での古典学習との一貫性をはかるとともに、より一層の発展・深化を旨とした教材選択・配列を考え、古典としての古文と漢文を読む能力を養うことを目的としました。そして、わが国の文化・伝統の中に身をおき、古典の価値を再発見し、新しい価値を加えて次の世代へと読み継いでいくこと、また、生涯にわたって古典に親しむ読書人を育成することを願いました。



▲P16-17



▲P226-227

2. 対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

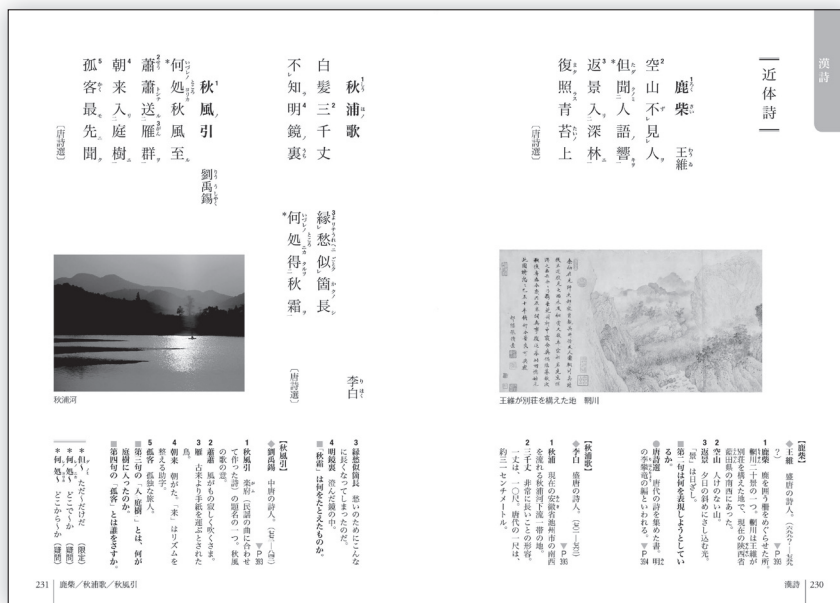
〈 〉内は小教材

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
(古文編) 第一部		
説話 児の知恵 成方と名笛 袴垂と保昌 〈動詞の活用〉	説話文学 を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。(第5号)	P12-19
随筆 徒然草 家居のつきづきしく 人の亡きあとばかり 九月二十日の頃 方丈記 行く川の流れ 養和の飢饉 〈無常観〉 枕草子 すさまじきもの 〈除目〉 中納言参り給ひて 〈形容詞・形容動詞の活用〉	三大随筆 を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。また、兼好・鴨長明・清少納言の思想・感性を読むことにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培います。(第1号、5号)	P20-35
歌物語 伊勢物語 初冠 〈垣間見〉 関守 梓弓 狩りの使ひ 目離れせぬ雪 大和物語 峰のみみぢ葉 姨捨山 〈助動詞のはたらき(1)〉	歌物語『伊勢物語』と『大和物語』を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。(第5号)	P36-49
日記 土佐日記 阿倍仲麻呂の歌 黒鳥のもと 更級日記 東路の道の果て 継母との別れ 『源氏』の五十余巻 〈『源氏物語』の成立〉 後の頼み 〈日記文学〉 〈助動詞のはたらき(2)〉	平安時代の二つの 日記文学 を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。また、『源氏』の五十余巻では、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養います。(第1号、5号)	P50-65
作り物語 源氏物語 光源氏の誕生 若紫との出会ひ 堤中納言物語 虫愛づる姫君 〈助詞のはたらき〉	『源氏物語』の発端部分、そして『堤中納言物語』から「虫愛づる姫君」を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。「虫愛づる姫君」では、生命を尊び、自然を大切にする態度を養います。(第4号、5号)	P66-77

図書の内容・構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
和歌 王朝の歌	八代集 を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。自然賛歌を多く選び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うよう配慮しました。(第4号, 5号)	P78-81
歴史物語 大鏡 雲林院の菩提講 花山天皇の出家 南院の競射 増鏡 宮内卿和歌のほまれ 鎧の袖 新島守 〈敬語法〉	二つの 歴史物語 を読み、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培います。(第1号)	P82-95
軍記物語 平家物語 忠度都落ち 能登殿最期 建礼門院右京大夫集 面影ばかり 〈紛らわしい語の識別〉	『平家物語』 と 『建礼門院右京大夫集』 を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。また、戦いをめぐる古代の人々の諸相を読むことにより、生命を尊ぶ態度を養います。(第4号, 5号)	P96-107
上代の文学 古事記 黄泉つひら坂 〈桃の力〉 万葉の歌	『古事記』『万葉集』 を読み、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養います。(第5号)	P108-115
近世の文学 去来抄 行く春を 〈連歌から俳諧へ〉 岩鼻や 雨月物語 菊花の約	俳諧評論 と 『雨月物語』 を読み、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培います。(第1号)	P116-124
(古文編) 第二部		
『枕草子』を読む 宮に初めて参りたる頃 〈宮廷女房〉 無名といふ琵琶の御琴を 『古今』の草子を 大納言殿参り給ひて 二月つごもり頃に 〈琴と笛〉	三大随筆の一つ 『枕草子』 を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。(第5号)	P126-139
『大鏡』を読む 師輔の夢 中宮安子の嫉妬 兼通と兼家の確執 若き日の道長 女院詮子の道長びいき 三船の才	前単元の 『枕草子』 と同時代の歴史書 『大鏡』 を読み、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培います。(第1号)	P140-155
『日記』を読む 蜻蛉日記 嘆きつつ 鷹を放つ 紫式部日記 若宮誕生 里居のもの思ひ 和泉式部日記 帥の宮からの便り 帥の宮の訪れ 讃岐典侍日記 しろしの箱	平安時代の 日記文学 を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。(第5号)	P156-171
『源氏物語』を読む——光源氏と女君—— 藤壺の宮の入内 身のほどを知る空蟬 朧月夜との出会い 葵の上に取り憑く物の怪 明石の君の苦悩 女三の宮の降嫁 紫の上の死 〈古典の扉 無名草子 女君評〉	世界に誇る物語文学である 『源氏物語』 から 光源氏と女君 を中心に精選された章段を読み、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできたわが国と郷土を愛する態度を養います。(第5号)	P172-201
評論を読む 無名抄 俊成自讃歌のこと 毎月抄 心と言葉 正徹物語 一字の違ひ 三冊子 師の風雅 難波土産 虚実皮膜の論 源氏物語玉の小櫛 もののあはれ 玉勝間 師の説になづまざること 〈古典の扉 古今著聞集 定家の勅勸〉	中世から近世に至るさまざまな 評論 を読み、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培います。(第1号)	P202-218

図書の内容・構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
(漢文編) 第一部		
故事・逸話 漱石枕流 画竜点睛 梁上君子 王昭君 江南橘為江北枳 鄧哀王曹冲	今に生きる6編の 故事・逸話 を読み、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養います。また、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第1号, 5号)	P220-229
詩 近体詩 鹿柴 秋浦歌 秋風引 望廬山瀑布 楓橋夜泊 涼州詞 芙蓉楼送辛漸 月夜 除夜寄弟妹 登高 (古体詩と近体詩) 古体詩 桃夭 行行重行行 飲酒 壼炭翁 苦宮市也	日本人に親しまれてきた代表的な 近体詩 10編と 古体詩 4編を読み、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うとともに、生命を尊び、自然を大切にすることを養います。(第1号, 4号)	P230-243
史伝 項羽と劉邦 鴻門の会 四面楚歌 項王の最期 (司馬遷と『史記』)	項羽と劉邦を中心にした『 史記 』を読むことにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養います。また、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(第1号, 3号)	P244-257
文 春夜宴桃李園序 漁父辞 桃花源記	日本でも古くから読み継がれてきた3編の 文 を読み、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うとともに、我が国がはぐくんできた伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心、他国を尊重する心を養います。(第1号, 5号)	P258-265
思想 論語 孟子 不忍人之心 荀子 人之性悪 老子 小国寡民 莊子 渾沌 韓非子 侵官之害	我が国の思想に大きな影響を及ぼした 儒家・道家・法家の文章 を読み、幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度、また、自他の敬愛と協力を重んじて主体的に社会の形成に参画する態度、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。(第1号, 3号, 5号)	P266-277
小説 売鬼 人面桃花	小説 二編を読み、豊かな情操と道徳心を培うとともに、創造性を培い、自主及び自律の精神を養います。(第1号, 2号)	P278-283
日本の漢詩文 冬夜読書 桂林荘雑詠示諸生 送夏目漱石之伊予 題自画 信玄と謙信 題不識庵擊機山図・敵に塩を送る	近世・近代の 日本人が書いた漢詩・漢文 作品を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第5号)	P284-288
(漢文編) 第二部		
逸話 季札挂剣 糟糠之妻 長安何如日遠 三横	4編の 逸話 を読み、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養います。また、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第1号, 5号)	P290-295
史話 鼓腹撃壤 伯夷・叔齊 宋襄の仁 荊軻 蘇武持節 赤壁の戦ひ (史話余談)	6編の 史話 を読むことにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養います。また、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(第1号, 3号)	P296-311
漢詩 子夜呉歌 胡笳歌 送顔真卿使赴河隴 石壕吏 (古典の窓 杜甫石壕吏 正岡子規) 長恨歌	日本人に親しまれてきた 漢詩 4編を読み、幅広い知識と教養を身につけ、豊かな情操と道徳心を培うとともに、生命を尊び、自然を大切にすることを養います。また、日本文学にも大きな影響を与えた『 長恨歌 』では、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。(第1号, 4号, 5号)	P312-323
史記 廉頗と藺相如 完璧帰趙 澠池の会 刖頸之交	廉頗と藺相如を中心にした『 史記 』を読むことにより、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養います。また、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(第1号, 3号)	P324-333

- ◎現代に通じる古典常識や基礎的な知識を深めるためのコラム「**古典の窓**」、参考作品を掲げて教材の読みを広げる「**古典の扉**」を適宜置いて、興味をもって学習が進められるように配慮しました。
- ◎古文編の第一部では、基礎的な古典読解力を育てるために、古文の読解に必要な**文法事項**を系統立ててまとめました。
- ◎漢文編では、各教材の中で特に注意したい**句型**を抽出し、本文中に*を付すとともに、見開きページごとに示しました。また、巻末の資料編で基本句型を整理しました。
- ◎口絵・付録については、いずれの学年でも参考となる資料的価値の高いものを厳選し、さらに、古典への関心を深めるもの、「国語総合」での学習を振り返ることのできるものを加えました。
- ◎より多くの人に見やすい**カラーユニバーサルデザイン**に配慮し、色覚特性をふまえた、**判読しやすい配色**や**レイアウト**、**表示の工夫**により、学びやすい紙面づくりに配慮しています。
- ◎教科書の印刷には**再生紙**と**植物油インキ**を使用し、**地球環境への影響を少なくする**ように配慮しています。



▲P230-231

2. 対照表

〈 〉は小教材

図書構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
(古文編) 第一部				
説話 児の知恵 袴垂と保昌	成方と名笛 〈盗賊〉〈動詞の活用〉	2(1)アイ	P12-19	
随筆 徒然草 家居のつきづきしく 九月二十日の頃	人の亡き後ばかり	2(1)アイウ	P20-24	
方丈記 行く川の流れ 〈無常観〉	養和の飢饉	2(1)アイウ	P25-29	
枕草子 すさまじきもの 中納言参り給ひて 〈形容詞・形容動詞の活用〉	〈除目〉	2(1)アイウ 2(2)ウ	P30-35	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
歌物語 伊勢物語 初冠 (垣間見) 関守 梓弓 狩りの使ひ 目離れせぬ雪 大和物語 峰のもみぢ葉 姨捨山 〈助動詞のはたらき(1)〉	2(1)アイエ 2(1)アイエ	P36-45 P46-49	
日記 土佐日記 阿倍仲麻呂の歌 黒鳥のもと 更級日記 東路の道の果て 継母との別れ 『源氏』の五十余巻 〈源氏物語の成立〉 後の頼み 〈日記文学〉 〈助動詞のはたらき(2)〉	2(1)アイエ 2(1)アイエ	P50-53 P54-65	
作り物語 源氏物語 光源氏の誕生 若紫との出会い 堤中納言物語 虫愛づる姫君 〈助詞のはたらき〉	2(1)アイウオ 2(1)アイウ	P66-73 P74-77	
和歌 王朝の歌	2(1)ウエ	P78-81	
歴史物語 大鏡 雲林院の菩提講 花山天皇の出家 南院の競射 増鏡 宮内卿和歌のほまれ 鎧の袖 新島守 〈敬語法〉	2(1)アイエ 2(1)アイエ	P82-89 P90-95	
軍記物語 平家物語 忠度都落ち 能登殿最期 建礼門院右京大夫集 面影ばかり 〈紛らわしい語の識別〉	2(1)イウエ 2(1)イウエ	P96-103 P104-107	
上代の文学 古事記 黄泉つひら坂 (桃の力) 万葉の歌	2(1)イエ	P108-115	
近世の文学 去来抄 行く春を 〈連歌から俳諧へ〉 岩鼻や 雨月物語 菊花の約	2(1)イウ 2(1)イウ	P116-124	
(古文編) 第二部			
『枕草子』を読む 宮に初めて参りたる頃 (宮廷女房) 無名といふ琵琶の御琴を 『古今』の草子を 大納言殿参り給ひて 二月つごもり頃に (琴と笛)	2(1)ウエオ 2(2)エ	P126-139 P138-139	
『大鏡』を読む 師輔の夢 中宮安子の嫉妬 兼通と兼家の確執 若き日の道長 女院詮子の道長びいき 三船の才	2(1)ウエオ	P140-155	

図書の内容・構成	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
『日記』を読む 蜻蛉日記 嘆きつつ 鷹を放つ 紫式部日記 若宮誕生 日本紀の局 和泉式部日記 帥の宮からの便り 帥の宮の訪れ 讃岐典侍日記 するしの箱	2(1)ウエ	P156-171	
『源氏物語』を読む ——光源氏と女君—— 藤壺の宮の入内 身のほどを知る空蟬 朧月夜との出会い 葵の上に取り憑く物の怪 明石の君の苦悩 女三の宮の降嫁 紫の上の死 <古典の窓 女君評>	2(1)ウエ 2(2)イ	P172-201 P201	
評論を読む 無名抄 俊成自讃歌のこと 毎月抄 心と言葉 正徹物語 一字の違ひ 三冊子 師の風雅 難波土産 虚実皮膜の論 源氏物語玉の小櫛 もののあはれ 玉勝間 師の説になづまざること <古典の窓 古今著聞集 定家の勅勸>	2(1)ウエオ 2(2)イ	P202-218 P218	
(漢文編) 第一部			
故事・逸話 漱石枕流 画竜点睛 梁上君子 王昭君 江南橋為江北枳 鄧哀王曹冲	2(1)アイオ 2(2)ア	P220-229	
漢詩 近体詩 鹿柴 秋浦歌 秋風引 望廬山瀑布 楓橋夜泊 涼州詞 芙蓉楼送辛渐 月夜 除夜寄弟妹 登高 <古体詩と近体詩>	2(1)アウエオ 2(2)ウ	P230-238	
古体詩 桃夭 行行重行行 飲酒 売炭翁 苦宮市也	2(1)アウエオ 2(2)ウ	P239-243	
史記 項羽と劉邦 鴻門の会 四面楚歌 項王の最期 <司馬遷と『史記』>	2(1)アイウエオ 2(2)ウ	P244-257	
文 春夜宴桃李園序 漁父辞 桃花源記	2(1)アイウオ 2(2)ウ	P258-265	
思想 論語 孟子 不忍人之心 荀子 人之性悪 老子 小国寡民 莊子 渾沌 韓非子 侵官之害	2(1)アイウエオ 2(2)ウエ	P266-267	
小説 売鬼 人面桃花	2(1)アイオ 2(2)ウ	P278-283	
日本の漢詩文 冬夜読書 桂林莊雜詠示諸生 送夏目漱石之伊予 題自画 信玄と謙信 題不識庵擊機山図／敵に塩を送る	2(1)アイオ 2(2)イウエ	P284-288	

